



i コミュ!

i のまち稲城 コミュニティ & コミュニケーション ペーパー!

発行：稲城市自治会連合会

2年連続 稲城市が都内で最も 犯罪の少ないまちに!



市内における令和4年中の刑法犯
件数は256件と、昨年の236件
を上回ってしまいましたが、都内（町
村・島しょ部を除く）で最も少ない件
数となりました。

これは、自治会や防犯団体をはじめ
とした地域住民の皆さんの力と、多摩
中央警察署や市行政の力を結集して、
日々活動を重ねてきた成果です。

これからも地域が一体となって、犯
罪の少ない安全・安心なまちを築いて
いきましょう!



地域における防犯の取り組み

市内一斉防犯パトロール

年2回、毎年7月と12月の第3水曜日に、市
内7か所を集合場所として地域の皆さんに参加い
ただき、市内一斉防犯パトロールを実施しています。

令和4年については、7月20日実施分は803人・
延べ148団体、12月21日実施分は758人・延べ
150団体という多くの方々にご協力いただき、そ
れぞれの地域を見回るとともに、「犯罪の少ない安
全安心のまち稲城」をアピールしました。



日頃の防犯パトロール

自治会をはじめ多くの地域団体の皆さんに、日頃
から地域の防犯活動を実施していただいています。
昨年末時点で、132団体が防犯活動実施団体とし
て市に登録されており、個人でも26人の方が防犯
活動個人ボランティアに登録されています。

市に登録された防犯活動実施団体や防犯活動個人
ボランティアには、市から帽子、ベスト、腕章等の
防犯グッズが支給されます。

なお、令和4年には延べ13,780人の方が防犯
パトロールを実施され、地域の安全安心の実現に貢
献されています。

青パトでパトロールをしてみませんか?

市では、青色回転灯パトロール車（青パト）を、
自治会をはじめとした防犯活動実施団体等を対象に
貸し出しております。詳細は、総務契約課総務係ま
でお問い合わせください。

- 「プラスチックごみ」、「ガラス類」、「陶磁器類」の出し方が変わります!
- 「ごみ分別アプリ」の配信がスタートします!

稲城 ごみ分別アプリ

検索

4月から新たに



市では、一般家庭等から出るごみの減量及び再資源化を推進し、地球温暖化等の環境問題の解決に向けた取り組みとして、令和5年4月から、「プラスチックごみ」、「ガラス類」及び「陶磁器類」の再資源化事業を開始します。

ごみの出し方については、以下のとおりとなります。

また、ごみ分別ルールの更なる周知啓発の一環として、新たにごみ分別アプリを配信いたします。



プラスチックごみの出し方動画

NEW

プラスチックごみの出し方(週1回収集)

リサイクルを目的としているため、汚れていないプラスチックのみ収集します。

指定収集袋で出せるもの(50cm未満のもの) ※軽くすすぐなどして汚れを取り除いてください

マークが
付いている
容器包装
プラスチック

袋類
菓子、食品、シャンプーなどの詰め替え、
レジ袋、ビニール袋など

ボトル容器
※ペットボトルは除く

ペットボトルなどの
ラベル・キャップ類

パック容器
卵パック、食品パックなど

製品
プラスチック
プラスチック素材のみで
出来たもの
マークが
付いていなくても
収集します。

硬いプラスチック
弁当箱、コップ、バケツ、
ハンガーなど

カゴ・桶・椅子

プランター・植木鉢・
じょうろ

CD・DVD・BD
+ケース

ケース類
小物入れなど
一辺50cm未満の
もの

その他
緩衝材・包装材
結束バンド
スポンジ
歯ブラシ
ホース
(50cm未満に切ったもの)

出せないもの

×油等の汚れが
取り除けないもの
×マヨネーズなどの中身が
残っているもの
燃える

×プラスチックと金属、木、ゴムなどの「複合製品」
おもちゃ、長靴、めがね、傘、
取っ手部分が金属のハンガー、おたま、フライ返しなど

×強化プラスチック製品
まな板(厚さ5mm以上)、
ラケット、ゴルフクラブのシャフトなど

×マークがついた飲料用などの
ペットボトル
缶・ペットボトル

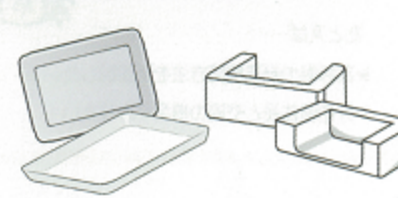
×一辺の大きさが50cm以上のもの
粗大ごみ

×医療用廃棄物などの
感染の恐れがあるもの
市では収集できません
医療機関または調剤薬局に
ご相談ください。

出し方 プラスチックごみは 水色の指定収集袋 で出してください。

- 軽くすすぐなどして汚れを取り除いてから出してください。
- リサイクルのための選別処理の妨げになるため、袋は二重にしないでください。
- 値札シール・ラベルなどは簡単にはがせるものは、はがしてください。

※「発泡トレイ」や「発泡スチロール」は、市内
公共施設などに設置している回収ボックスや
スーパーなどの店頭回収もご利用ください。



出す場所 一戸建ての住宅に住んでいる方は自宅前(道路際の敷地内)に、集合住宅に住んでいる方は指定のごみ集積場に出してください。

NEW

びん
ガラス類・陶磁器類

缶・ペットボトル

の出し方(それぞれ週1回収集)

ガラス類・陶磁器類 出せるもの

それぞれ袋に入れてカゴに入れる
「割れているもの」は「割れ物注意」と記載した
紙に包んで袋に入れる

【ガラス類】
板ガラス・曇りガラス・
割れたガラス・灰皿・コップ・
耐熱性食器・枠なしの鏡など

【陶磁器類】
花瓶・急須・皿・茶碗・植木鉢・
焼酎の壺など



びん・ガラス類・陶磁器類 出せないもの

水槽・ガラス鍋蓋・姿見など
枠のあるもの
燃えない

蛍光灯(電球型含む)・
水銀体温計
有害物

コンクリート製品・
珪藻土マット・
合わせガラス(中間膜入り)・
網入りガラス
専門業者



共通
出す
場所

お近くの資源回収ステーションのカゴに入れてください。カゴは回収日の前日に設置されます(月曜日回収の場合は、前週の金曜日に設置します)。ペットボトルは黄色のカゴに、缶は青色のカゴに入れてください。右記の看板が目印ですー

※びん・ガラス・陶磁器・缶・ペットボトル以外は入れられません。ご利用の際はマナーを守り、清潔な環境の維持にご協力をお願いします。

- 台風・大雨・積雪など悪天候のときは回収作業を中止することがあります。カゴが設置されない場合は次の回収日に出してください。
- カゴからあふれる程の量を出す際は、お手数ですが市役所生活環境課(TEL. 378-2111)までご連絡ください。

資源回収ステーション	
回収日は	毎週 曜日
缶	毎週 曜日
びん	毎週 曜日
●回収日の前日までに袋に入れて 出してください。 ●悪天候時には設置・回収作業を 中止する場合があります。	
※ペットボトルは黄色のカゴに入れてください。	
稲城市	

「ごみ分別アプリ」の配信が スタートします!

稲城 ごみ分別アプリ

検索

4月からの「プラスチックごみ」、「ガラス類」、「陶磁器類」の分別収集開始に伴い、ごみ分別ルールの更なる周知啓発の一環として、新たにごみ分別アプリを配信いたします。資源物やごみの出し方、収集日などをアプリで確認できる他、荒天時等のごみ収集中止など市からのお知らせをプッシュ通知で受け取ることが出来ます。下記二次元コードからダウンロード可能です。是非、ご活用ください。

※通信費は利用者負担です。



指定収集袋の大きさ・価格(処理手数料)

種類	容量	価格(10枚1組)
特小袋	5L相当	燃えるごみ用、燃えないごみ用 100円
		プラスチックごみ用 50円
小袋	10L相当	燃えるごみ用、燃えないごみ用 200円
		プラスチックごみ用 100円
中袋	20L相当	燃えるごみ用、燃えないごみ用 400円
		プラスチックごみ用 200円
大袋	40L相当	燃えるごみ用、燃えないごみ用 800円
		プラスチックごみ用 400円

令和 5 年度地域の底力発展事業助成

「地域の底力発展事業助成」は、地域の課題を解決するための取組みを推進して「地域力」の向上を図るために、地域活動の担い手である自治会の皆さんが行う事業に対して、東京都が助成を行うものです。事業を実施する際は、ぜひ活用をご検討ください。

詳細は下記まで、お問い合わせください。

＜問い合わせ先＞ 東京都生活文化スポーツ局都民生活部地域活動推進課 TEL 03-5388-3166

地域の担い手マッチング事業「まちの腕きき掲示板」実施中！

まちの腕きき掲示板

稲城市では令和 4 年度から、一般財団法人東京都つながり創生財団・認定 NPO 法人サービスグラント・東京都と共同で、地域活動の担い手人材マッチング支援プログラムである「まちの腕きき掲示板」事業を活用しています。

これは、自治会が日頃の活動で感じる“ちょっとしたお困りごと”と、それをお手伝いする“腕きき”の住民ボランティアとをつなげる事業で、令和 4 年度は右表の 3 自治会で活用しています。

令和 5 年度も継続する事業ですので、是非ご活用ください。

●令和 4 年の実績

自治会名	プロジェクト内容
押立自治会	「押立音頭」解説書の作成
長峰杜の三番街自治会	「網戸の張替え講習会」講師の募集
坂浜自治会	ホームページ支援（作成及びメンテナンスの指導）

「町会・自治会応援キャラバン」事業をスタートします！

町会・自治会応援 キャラバン

稲城市では令和 5 年度から、一般財団法人東京都つながり創生財団・東京都と共同で、新たに「町会・自治会応援キャラバン」事業を開始します。

これは、自治会のお困りごとをアウトリーチ型の相談会を通じて吸い上げ、事業の具体化から翌年度以降の継続に向けた助成金の取得などを伴走型で支援する事業で、右図に示した①防災②デジタル化③見守り・多文化共生の 3 分野での支援を行います。

相談会等の詳細が決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

防災



たとえば…

- 子どもが楽しめる防災訓練の企画が欲しい！
- 住民周知用の防災マップを作りたい！

デジタル活用



たとえば…

- ホームページやSNSで情報を発信したい！
- 町会内の連絡をオンラインでできるようにしたい！

住民向け アンケート調査



たとえば…

- 住民が町会に何を期待しているか知りたい！
- どんなイベントに参加したいと思っているのか知りたい！

見守り・ 多文化共生



たとえば…

- 高齢者の安否確認方法を再検討したい！
- 外国籍住民と交流の機会を作りたい！